

2022年4月2日(土)快晴 暖かい。朝「④水鳥のみち」を9時に歩き終えて、甚兵衛渡しに到着した。これから歩くコースは、甚兵衛渡しから同じ道を途中まで戻って、印旛沼を開拓した栄町の田圃を通り抜けて、ゴールのJR 安食駅に向かう8.3km。水鳥の道とあまり変わらない、変化のないコースとなっている。



「②沼めぐりのみち」案内板、④水鳥のみち分岐路に建つ(首都圏自然歩道連絡協議会)



甚兵衛渡し(スタート)から JR 安食駅(ゴール)地図 8.3km



甚兵衛渡しを折り返して北へ、ゴールの JR 安食駅目指して歩き出す



田圃を横切って新しく出来た「成田スカイアクセス」高架鉄道の脇を通る



鉄路を潜り、印旛沼方向に向かうが、沼へ出るのに県道には信号がない。



朝歩いた灌漑用水路沿いに歩く(もと来た道を戻る)、土手の向こうは印旛沼であるが通れない



とに角静かで、鳥のさえずりが聞こえなければ、魚影も見当たらない。沈黙の春だね



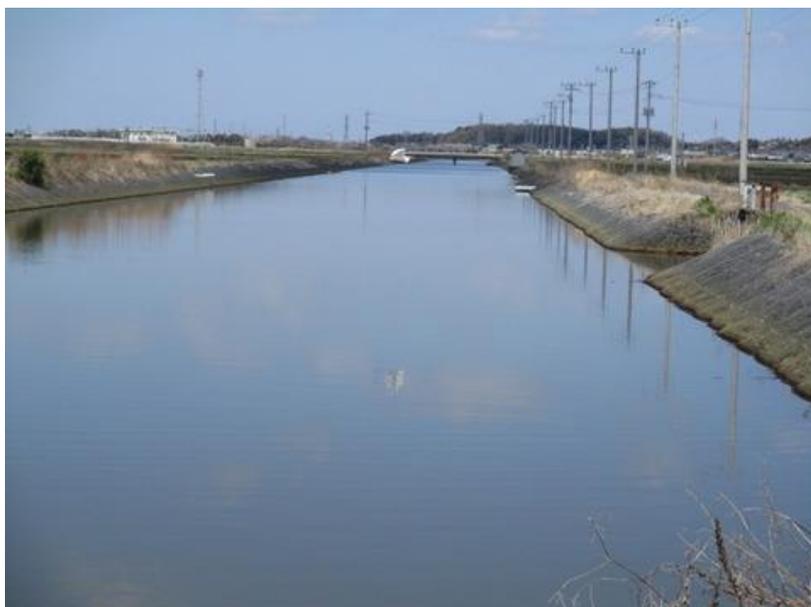
今日歩く「⑧沼めぐりのみち」と「④水鳥のみち」コースの分岐点



分岐点をそのまま西へ、やっと釣り人が糸を垂れていた、聞くと鮒を釣っているとの事



この用水路は結構大きく、左側の印旛沼は干拓されて沼は見えない。春が来た、花は咲いているけど、蝶や虫たちはいない



自然は沈黙してしまった、薄気味悪い。鳥たちはどこへ行ってしまったのか、

春が来たが沈黙の春だった・・・今は物音ひとつしない・・・皆黙りこくっている



やっと鳥に出会ったが、田圃には未だ水がない、魚貝類がいない、農薬のせいだ



やっと水鳥に出会った、こんな護岸だから水草も育たず、小魚も居つかない



総ては人間が自ら招いた禍だったのだ(沈黙の春、青木築一訳、新潮文庫)



酒直水門で長門川の水を調節している



ここから印旛沼を離れて、長門川沿いに安食(あじき)の町に向かう



この辺りの桜堤防は川が高台を流れるから、見晴らしが良い。一休みしてお花見しよう



県道に出て、駅に向かう途中「㉑川と沼を繋ぐみち」と合流する



今日のゴール、JR 成田線 安食駅に到着 11:40 であった

[参考タイム] 甚兵衛渡し(9:25)→㉑・㉒分岐点(10:20-10:30)→酒直水門(11:05-11:10)  
→JR 安食駅(11:40 着)

「関東ふれあいの道(千葉)㉑川と沼をつなぐみち」に続く